



木場小だより



令和8年7月30日

発行

校長 吉田 亜紀

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成

木場小キャラクターキバシカ

「ねじまきタイム」頑張っています。

6月の6年生による「授業のデモンストレーション」を受け、各学級ではねじまきタイムの目標を設定しました。それに向かって日々の授業を行っています。授業交流を行い、それぞれの学級の良かったことを自分達に取り入れようとしています。

問題を考えているときにわからないまま時間を過ごすのではなく、友達や先生からヒントをもらったり、途中までの考えを友達と交流したりすることで、しっかり自分の考えをもてたり、自分とは違う考えに気づけたりします。ねじまきタイムを自分たちが必要だと思ったタイミングで授業に入れ、そこから全体の話し合いへ自分たちでつなげていくクラスもあります。授業の主役は子ども達。将来、問いに自分から取り組み、あきらめず解決策を考え、仲間とつながりながら一番良い答えを求めていける人になってほしいと願っています。



みんなで遊ぼう運動(6/22、23)

運営委員会企画の「みんなで遊ぼう運動」が行われました。1回目はドッジボール、2日目はかわおにでした。全校みんなで遊ぶことで、楽しい学校を自分たちで作っていかうという目的です。運営委員会は、みんなで楽しく、安全に遊ぶにはどんなルールが必要かを考え進めています。参加している子ども達は、精一杯ボールを投げたり取ったり、必死に逃げたり・・・笑顔があふれました。そんな中でも、6年生と手をつないで嬉しそうにしている1年生の姿もありました。



モリアオガエルの観察(6/23)

今年も星の城プロジェクトの皆さんに案内していただき、4年生が学校のすぐそばの森にモリアオガエルの卵塊を見にいきました。いくつもの卵塊がありました。1つの塊には500ほどの卵が含まれています。たくさんの卵ですが、ヘビや鳥などいくつもの天敵がおり、カエルになるまで成長できるのはわずかです。今回はその生体が見



られました。木の幹でじっとしている生体はきれいな緑色で大変美しかったです。モリアオガエルが見られる木場地区の自然をずっと守っていかねばと改めて思いました。

金沢自主プラン(7/10)

6年生が金沢自主プランにでかけました。グループで役割を決め、兼六園、歴史博物館、金沢城公園、尾山神社等を回りました。道に迷いながらも、グループの人と協力してどのグループも予定通り見学したり体験したりすることができました。子ども達の良い経験になりました。保護者の方には、駅までの送迎をしていただき本当にありがとうございました。



符津小学校での授業(7/21~7/31)

空調工事が9月中頃まで続くため、夏休みに入っている符津小学校をお借りして授業をしています。初めての学校で、「新幹線が見える!」とか「トイレたくさんある!」とかいろいろな気づきを発見していました。初めての環境に慣れない面もありましたが、2日目には落ち着いて学習に取り組んでいました。さすが木場っ子です。運営委員会の子ども達が、昼休み時間の過ごし方として、室内での遊びを提案してくれました。自分たちで考えて学校生活をより良くしていこうとしているところが素晴らしいです。

